

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
- 令和8年9月7日同時配布

同時発表：国立研究開発法人 建築研究所



令和8年9月7日
国土技術政策総合研究所

令和8年熊本地震による建築物の非構造部材の被害調査報告（速報） をHPで公開しました。

令和8年熊本地震による建築物の非構造部材（外装、ガラス、天井等）の被害について、国総研及び建研が実施した現地調査の速報をホームページに掲載しました。

○令和8年熊本地震による建築物の非構造部材の被害調査報告（速報）

調査結果のまとめは以下の通り。なお、今後の調査に伴い、本報告の内容には修正が加えられる可能性がある。

- ・報道等で事前に被害情報があった建築物の非構造部材（外装、ガラス、天井等）の被害状況やその周辺の非構造部材の状況について、外観による調査を行った。
- ・ガラス（同構面内の枠材やガラス扉等を含む）の破損、扉の傾き等の被害が見られた。
- ・外壁・外装の被害として、ALCパネルの損傷・脱落、外装材の傾き等の被害が見られた。
- ・天井等の被害として、店舗の軒天井などにおける天井高の低い吊り天井の比較的広範囲な落下、垂れ下がりが見られた。落下が見られた軒天井は、鋼製下地が用いられたいわゆる在来工法によるものであった。その他、外側から見られる範囲でも、構造体（柱）際の内装材と天井との取り付け部における天井の部分的な損傷等が見られた。

本資料は、国総研ホームページ及び建研ホームページで公開しています。

ダウンロード先URL：

<https://www.nilim.go.jp/lab/bbg/saigai/R8/kumamotohikouzoubuzai.pdf>

（問い合わせ先）

国土技術政策総合研究所 建築研究部

建築災害対策研究官 村上 真祥（内線 4326）

TEL：029-864-4437 E-mail：murakami-n288@mlit.go.jp